

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2016年度事業報告

I 概要

会員数が大きく減少することはありませんでしたが自然減を補うことができずフライヤー数は800人を割り込み始めました。15年前には20代から40代までのフライヤーが全体の約68%を占めていましたが、現在その年齢層は約34%と構成比が半減しています。フライヤーの絶対数を増やすためにはこの若い年齢層の増加が不可欠です。日本学生フライヤー連盟の新入生勧誘活動により学生の入門者が毎年一定数いるのですが社会になるとほとんどがやめてしまう実態を少しでも是正し、社会人がパラやハングに興味を持つように露出を増やすことを進めていきます。

なお、安全性向上などを目的として、教員検定員検定会を開催したほか、MPGパイロット安全セミナーを全国で10回開催しました。

1. 収支の現状

2016年度は、教員検定員の研修検定会を実施、教本準備のための費用も拠出したため、ここ数年で一番大きな単年度赤字の計上となりました。次期繰越金はわずかとなり、資金をかけて活動をしていくためには、取り崩し可能な基金からの資金手当で、フライヤー会員数の目に見える増加が必要になります。十数年前の財政危機は、歳入歳出のバランスを期中に見誤ったためでした。経理財務はしっかりと管理していきます。足元では会員数が再び減少して赤字の一因となり、今後公益目的事業基金の取り崩しが避けられないと予測します。この基金は、公益社団化の時に遊休財産とみなされないために基金化しておいたものであり、事業資金に戻すことに問題はありません。しかし、これを使い切ってしまった暁には、一人あたりの負担増加、JHFの活動の縮小が必要となります。愛好者数の減少への歯止め、増加への転換が望まれます。

2. 組織運営等

- 1) 教員検定員研修検定会を開催 教員検定員候補者23名が受講
- 2) MPGパイロット安全セミナーを開催 10カ所
- 3) 教員検定員による教員助教員更新講習会を13カ所で開催、99名が受講
- 4) レスキュー・パラシュート・リパック更新講習会を11カ所で開催、39名が受講
- 5) 教員検定会にて4名を新しくパラグライディング教員に認定
- 6) 第5回JHFフォトコンテストを開催

3. 特記事項

- 1) 第39回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月30日（土）～31日（日） 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) FAI世界記録認定
ア) 2016年1月7日の磯本容子選手のハンググライダー（女性）目的地直線距離367.6km（オーストラリア フォーブス～ウォルゲット） 認定日：2016年7月13日
イ) 2015年11月2日の平木啓子選手のパラグライダー（女性）目的地直線距離記録301km（ブラジル キシャダ～カステロ・デ・ピアウイ） 認定日：2016年7月25日
- 3) 平成28年度一般財団法人日本航空協会「空の日」航空関係者表彰式が開催（9月20日）され、FAI世界記録公認の平木啓子選手、磯本容子選手に航空スポーツ賞が授与された。
- 4) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」に愛知県フライヤー連盟（7月18日）、東京都ハング・パラグライディング連盟（8月6日～

7日)が協力

5) 後援イベント／体験会・デモフライト

10月15日(土) 千葉県幕張海浜公園

10月25日(日) 埼玉県熊谷市妻沼滑空場

11月 6日(日) 東京臨海広域防災公園(そなエリア) ちびっこパーク

11月22日(火) 福島スカイパーク・イベント実証テスト

6) 第22回スカイスポーツシンポジウムを協賛

12月10日(土) 都立産業技術高専(荒川キャンパス)

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

ア 正会員 47

イ フライヤー会員 7, 832名(2017年3月末有効登録数)

ウ 賛助会員 12

(2) 役員構成

理事 7名(内会長1名、副会長1名) 監事 1名(2017年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2016年 6月通常総会

開催通知 2016年4月 4日(月)

開催日 2016年6月21日(火) 11:00~17:00

開催場所 北とぴあ 7階・第二研修室
(東京都北区王子)

議案 報告事項1 2015年度事業報告について

報告事項2 2015年度決算報告について

決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について

報告事項3 2016年度事業計画について

報告事項4 2016年度収支予算について

決議事項2 JHF役員選任規約の改訂について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月19日(出:理事7、監事1)

イ 第2回理事会 開催日 7月 7日(出:理事7、監事1)

ウ 第3回理事会 開催日 10月20日(出:理事7、監事1)

エ 第4回理事会 開催日 3月10日(出:理事7、監事1)

文書理事会 開催日 4月1日、4月6日、4月8日、5月23日、
7月22日、8月22日、11月2日、11月14日、11月18日、
1月18日、2月7日、2月16日、2月22日、3月21日、3月23日

(3) 委員会

ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施

イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施

- ウ 補助動力委員会 4/18、10/3、1/30
- エ 教員・スクール事業委員会 6/20、11/7、1/17
- オ 安全性委員会 6/20、11/21、1/18
- カ 制度委員会 4/13、1/17
- キ ハングパラ振興委員会 4/26、11/15、2/28
- ク 役員選任実行委員会 11/29、2/27
- ケ 委員長理事合同会議 2/14

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）
(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2016年度 5,712名（新規・更新）
2015年度 6,020名

(3) 技能証発行

- ア HG : 205枚 (2015年度 226枚)
- イ PG : 1,035枚 (2015年度 1,018枚)
- ウ MPG : 35枚 (2015年度 24枚)
- エ レスキュー・パック認定証 40枚 (新規3・更新37)

(4) 競技会の主催・公認・後援

- ア HG : 20件 (内FAIカテゴリーI・II : 4件)
- イ PG : 26件 (内FAIカテゴリーI・II : 2件)
- ウ HG・PG同時開催 : 4件

(5) 競技会の開催

ア HG :

- 1 日本選手権
2016年3月17日～21日 茨城県足尾エリア
参加61名 日本選手権者：大門浩二 女子：磯本容子
- 2 クラスV日本選手権 11月3日～6日 茨城県足尾エリア
参加47名 日本選手権者：板垣直樹
- 3 ハンググライディングシリーズ（参加人数104名）
第1位 大門浩二 女子第1位：野尻知里
- 4 ハンググライディングXCリーグ
第1位 松田隆至 (212.08km)

イ PG :

- 1 日本選手権
11月3日～6日 徳島県吉野川エリア
参加70名 日本選手権者：岩崎拓夫 女子：平木啓子
- 2 アキュラシー日本選手権
10月15日～16日 千葉県九十九里エリア
参加15名
日本選手権者：塚原隆信
- 3 ジャパンリーグ(参加人数105名)
オープクラス 1位：廣川靖晃

| | |
|------------------------|---------------|
| オープクラス女子 | 1位：平木啓子 |
| スポーツクラス | 1位：田中 健 |
| スポーツクラス女子 | 1位：中目みどり |
| ジャパンリーグ（参加人数26名） | |
| 総合 | 1位：橋本耕一 |
| 女子 | 1位：田村康子 |
| クロスカントリーリーグ（32名） | 73本 1位：多賀純一 |
| 最長フライト | 中川喜昭（154.1km） |
| アキュラシージャパンリーグ（参加人数19名） | |
| スクラッチクラス | 1位：岡 芳樹 |
| スクラッチクラス女子 | 1位：伊藤まり子 |
| ハンディキャップクラス | 1位：古田岳史 |
| 学生クラス | 該当者なし |
| チーム | 1位：スカイ朝霧 |

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

| | | |
|------------|------|------------------|
| スクールサイト登録校 | 156件 | （うち新規登録校5件、削除1件） |
| エリア情報掲載 | 177件 | |

(7) 海外関係団体活動

| | | |
|--------|-----------------------------|--------|
| CIVL総会 | 2017年2月2日～5日 | オーストリア |
| 出席者： | デレゲイト 岡 芳樹、教員・スクール事業委員 北野正浩 | |

(8) 世界選手権へのチーム派遣

| | |
|------------------------------|----------|
| 第7回FAIハンググライディングクラスV世界選手権 | |
| 参加選手：4名（内1名個人参加） | |
| 7月16日～30日 | マケドニア共和国 |
| 第3回FAIパラグライディング・アキュラシーアジア選手権 | |
| 参加選手：5名 | |
| 5月27日～6月3日 | カザフスタン |

(9) その他

| | |
|--------|-------------------|
| 機体型式登録 | 0件（PG 0件、HG 0件） |
| 機体情報登録 | 38件（PG 32件、HG 6件） |

添付： 2016年度 委員会活動報告補足

以上

〈 2016 年度委員会活動報告補足 〉

ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 3) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は隨時実施。
- 4) ライブトラックの競技導入により集計の簡略と安全運営の両立。
- 5) 第7回FAIハンググラディングクラスV世界選手権選手派遣（マケドニア共和国(Krushevo)）
2016年7月16日～30日 約130名参加、日本から4名（内1名は個人参加）
6位入賞 板垣直樹、国別 3位
- 6) 2016年ハンググライティング・クラスI日本選手権開催（茨城・足尾）
2016年3月17日～21日 61名参加 タスク3本成立。
日本選手権者：大門浩二、2位 阿部貢造、3位 板垣直樹、4位 氏家良彦、
5位 加藤実、6位 砂間隆司
女子日本選手権者：磯本容子、2位 鈴木あき子、3位 桜井さやか
- 7) 2016年クラスV日本選手権開催（茨城・足尾）
2016年11月3日～6日 47名参加。タスク4本成立。
日本選手権者：板垣直樹、2位 塩野正光、3位 砂間隆司
- 8) ハンググラライディングシリーズ管理運営
参加人数 104名
1位 大門浩二、2位 鈴木博司、3位 田中元気
女子1位 野尻知里、2位 鈴木あき子、3位 磯本容子
- 9) ハンググラライディングXCリーグ管理運営
1位：松田隆至（212.08km）
- 10) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認

パラグラライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第3回パラグラライディング・アキュラシーアジア選手権（カザフスタン、タルディコルガン：
2016年5月27日～6月3日）～選手派遣（男子4名、女子1名：岡 芳樹、古田岳史、
小松理樹、鈴木洋史、伊藤まり子）
総合1位：タナパット・レアンガイエム（タイ） 2位：ワン・ホン・ジ（中華人民共和国）、
3位：ツー・チー・フェン（中華人民共和国）、8位：伊藤、11位：小松、14位：岡、
15位：古田、18位：鈴木。

女子1位：伊藤（日本）、2位：ヌナパット・プチヨン（タイ）、3位：ダギョム・リ（大韓民国）

国別1位：中華人民共和国、2位：大韓民国、3位：タイ、4位：日本

4) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・Jリーグ結果（参加人数107名）

オープンクラス 1位：廣川靖晃、2位：上山太郎、3位：岩崎拓夫

オープンクラス女子 1位：平木啓子、2位：山下敦子、3位：中目みどり

スポーツクラス 1位：田中 健、2位：中目みどり、3位：山下敦子

スポーツクラス女子 1位：中目みどり、2位：山下敦子、3位：高田奈緒

・J2リーグ（参加人数26名）

総合 1位：橋本耕一、2位：今中 正、3位：山田裕一

女子 1位：田村康子、2位：橋本 泉、3位：富永あゆみ

・XCリーグ（32名、73本）

1位：多賀純一（415.9km）、2位：中川喜昭（414.3km）、3位：二三四藤昭（315.5km）

最長フライト：中川喜昭（154.1km）

・AJリーグ（参加人数19名）

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、2位：塙原隆信、3位：古田岳史

スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子、2位：山口香代、3位：菊田久美

ハンディキャップクラス 1位：古田岳史、2位：塙原隆信、3位：和田浩二

学生クラス 該当者なし

チーム 1位：スカイ朝霧、2位：大台、3位：飛魔人クラブ

5) 2016年度日本選手権開催（徳島県吉野川エリア）2016年11月3～6日

タスク2本成立/4日 70人参加 規定により日本選手権として成立。

総合1位：岩崎拓夫、2位：廣川靖晃、3位：上山太郎、4位：呉本圭樹、5位：青木 翼、

6位：平木啓子

女子1位：平木啓子、2位：山下敦子、3位：高田奈緒

スポーツクラス1位：高田奈緒、2位：村田好彦、3位：田中 健

スポーツクラス女子1位：高田奈緒、2位：中目みどり、3位：高橋美佳

6) 2016年度アキュラシーフロントランナーズ日本選手権開催（千葉県九十九里エリア）2016年10月15～

16日

9ラウンド成立 15人参加 規定により日本選手権として成立。

総合1位：塙原隆信、2位：菊田高司、3位：岡 芳樹、4位：松原正幸、5位：伊藤まりこ、

6位：古田岳史

女子1位：伊藤まり子、2位：山口香代

ハンディキャップ1位：松原正幸、2位：菊田高司、3位：塙原隆信

安全性委員会 委員長 伊尾木 浩二

1) 事故情報の収集と管理

- 2) 事故調査報告
- 3) 機体登録制度の推進
 - ・JHF レポートへ掲載実施
- 4) MPGパイロット安全セミナーの開催
 - ・補助動力委員会以外でも県連等で開催
- 5) 地図ソフト連動のエリアマップの作成
- 6) 小型航空機安全対策説明会参加 東京空港事務所
- 7) 海外情報収集 (DHV、PMA、EAPR、DULV) 訪問

教員・スクール事業委員会 委員長 山谷 武繁

- 1) 教員検定会 PG 4名 HG 0名
- 2) 教員助教員更新講習会 13カ所 99名受講
- 3) レスキューパラシュートリパック認定証更新講習会 11カ所 39名受講
- 4) レスキューパラシュートリパック認定 40名 (新規3名 更新37名)
- 5) PG教本改訂
- 6) HG教本作成
- 7) 教員検定員検定会の開催 (3月14日～16日 検定員23名)

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) MPGパイロット安全セミナーの開催
 - 福島塙町 5/3 40名近くの参加者 JPMA JPA 合同 (須藤)
 - 佐賀県連、長崎県連合同を佐賀県で開催 7月末開催 (橋田)
 - 静岡 御前崎、静波 5月末開催 JPMA エリアにてセミナー各 10名 (橋田)
 - 三重県 伊勢付近 5月末開催 (橋田)
 - 高知県 仁淀川河口付近 5月上旬セミナー開催 (橋田)
 - 群馬県 群馬県連 MPG 安全セミナー約 10名 (伊尾木)
 - 高知県 四万十川 7月 セミナー開催 (橋田)
 - 京都 丹後 MPG セミナー10名前後参加 (橋田)
 - 北海道 余市 9/7 3名程度 セミナー (須藤)
 - 青森県 八戸 青森県連主催 9/10.11 20名程度参加 (須藤)
- 2) 下総自衛隊安全会同への参加 (須藤)
- 3) 会員増加の為の取り組み
- 4) 事故対策への取り組み
 - 事故調査 滋賀県 長浜 事故調査 5月1日 (橋田)
- 5) MPGクレーム情報収集 (JHF レポートなどへ掲載)

制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHF 公式立会人規程の研究と作成準備
- 2) FAI 技能記章の改定に準じた JHF の FAI 技能記章規定改定
- 3) 新HG教本に沿った HG 技能証規程の改定準備
- 4) HG 教本の全面改訂作業に協力
- 5) 役員選任実行委員会との連携による役員選任規約の改定
- 6) スクール、クラブ、エリア調査についての理事会への提言

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

- 1) ハンググライダーのパンフレット(紹介版)作成
最終稿調整中。制作途中の暫定版を 1,000 部印刷しイベント等で配布している。
- 2) 現在飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討
- フライヤーズボイスを定期的に更新できる体制を検討し運用に入った。
- 3) 各種イベントへの協力
- 4) HG 教本および PG 教本改訂への協力

役員選任実行委員会 委員長 鈴木 由路

- 1) 2017 年役員選任に向けての検討
- 2) 2016 年総会において、役員選任規約改訂を上程し総会の承認を受けた